



明月記断簡 嘉禄元年（一二二五）

七月五日 前後欠 藤原定家筆 一幅

昨年七月に収蔵された藤原定家自筆断簡。この直前の部分の断簡が、現在、国立歴史民俗博物館に所蔵されている。内容は嘉禄元年（一二二五）七月五日条で、藤原頼実の薨去に際し、その所業に対する激しい非難を簡条書きに記している。活字本等には収められておらず、全くの新出部分として、極めて貴重な史料価値をもつ。